



ターリバーンの再支配から早3年

# アフガニスタンのいま

女性と子どもたち、そして私たち

アフガニスタンでは2021年のターリバーンの復権以後、強権的な支配が続いています。とりわけ女性の自由の制限が深刻で、教育や就労の機会が制限されています。国連をはじめ多くの人権団体が批判し、是正を求めています。改まることはありません。

このような状況でも声を上げ、人びとに寄り添った活動を続けるRAWA（アフガニスタン女性革命協会）のメンバーにアフガニスタンの状況について語っていただきます。



洞窟でおこなわれている識字教室 ©RAWAと連帯する会

## RAWA アフガニスタン女性革命協会

1977年、アフガニスタンの首都カーブルでミーナーという女性により設立されたフェミニスト団体。女性への抑圧が強いアフガニスタン社会のなかで、民主主義・政教分離・ジェンダー平等・人権・平和などを求めて活動する。ミーナーは暗殺されたが、その運動はいまに引き継がれている。主な活動は、学校教育・識字教育・医療活動・社会活動・出版など。アフガニスタンの現状を積極的に発信する。

名古屋学院大学国際文化学部「ジェンダー論」公開授業

2024年6月16日（日）15：00～（14：30開場）

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり 曙館101教室

参加費無料 申込不要

学外の方のご参加もお待ちしております

主催 名古屋学院大学国際文化学部／「ローカリティ形成における宗教の関与についての学際的比較研究」研究会  
共催 RAWAと連帯する会／清末愛砂室蘭工業大学大学院研究室

お問い合わせ 名古屋学院大学国際文化学部 佐伯奈津子 kokubun@ngu.ac.jp